

愛知東邦大学 シラバス

開講年度 (Year)	2024年度	開講期 (Semester)	後期
授業科目名 (Course name)	専門演習 II		
担当者 (Instructors)	松尾 香弥子	配当年次 (Dividend year)	3
単位数 (Credits)	2	必修・選択 (Required / selection)	必修

■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)	
<p>専門演習 I・IIを通じて、各学生が興味を持って研究できるテーマを見出し、卒業論文の作成について学習することを目的とする。研究テーマの内容は、人間のこころや行動について考える。例えば、教育現場の問題（いじめ、不登校、非行、暴力、発達障害等）、心の病の問題（うつ、自殺等）、社会の問題（ジェンダー、DV等）、自己の問題（自信のなさ、自己尊重感、自己概念等）、これらの領域を中心とする。研究テーマを探す方法としては図書館での本や論文の検索、インターネットでの検索等を行い資料の取り寄せが行えるようになる。専門演習 II では特に調査の実施とデータ分析を行って研究成果をまとめることとする。なお、心理コースの全体講義および各担当教員による個別演習とともに、対面での指導とリモート授業（リアルタイム、オンデマンド）を使い分けて実施する。</p>	

■ 授業形態・授業の方法 (Class form)	
授業形態 (Class form)	演習
授業の方法 (Class method)	<p>講義と演習形式で授業を行う。専門演習 II ではアンケート・インタビュー等のデータを扱う研究を行う。全体での講義をはさんで、研究テーマの決定、アンケート等実施、統計解析、考察を行い、研究成果をパワーポイントにまとめ、プレゼンテーションを行う。データ取得は心理コース全体でのアンケート実施の体裁で行うことがありうる。なお、シラバス内容やその実施回は、進捗状況等に応じて柔軟に調整・変更するので注意すること。</p>

■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)			
回数 (Num)	テーマ (Theme)	内容 (Contents)	メディア区分 (Media)
第1回	全体講義 I 調査をするということ・構想を考える・先行研究を探す	1. データを使って論文を書くということ 2. 論文の構成 3. 目的、方法の書き方	<input type="checkbox"/>
第2回	個別演習 I (1) テーマを決定し構想を考える	テーマを決め、どのような調査をするか考える	<input type="checkbox"/>
第3回	個別演習 I (2) 質問紙、インタビュー項目を考える	具体的な質問紙・インタビュー項目を作成する	<input type="checkbox"/>
第4回	個別演習 I (3) 調査の実施 1	アンケート調査、インタビュー調査を実施する 1	<input type="checkbox"/>
第5回	個別演習 I (4) 調査の実施 2	アンケート調査、インタビュー調査を実施する 2	<input type="checkbox"/>
第6回	全体講義 II データ分析の仕方	データ分析と結果、考察の書き方を講義する	<input type="checkbox"/>
第7回	個別演習 II (1) データ分析	データの分析を実施する	<input type="checkbox"/>
第8回	個別演習 II (2) データの分析と結果の作成	データ分析の結果から結果を作成する	<input type="checkbox"/>
第9回	個別演習 II (3) 分析表、グラフ等の作成	結果を表やグラフを用いて見やすい形で表示する	<input type="checkbox"/>
第10回	個別演習 II (4) 考察	先行研究、調査結果を使って考察を書く	<input type="checkbox"/>
第11回	全体講義 III 発表の仕方	全体のまとめ方と分かりやすいプレゼンテーションについて講義する	<input type="checkbox"/>
第12回	個別演習 III (1) 主要な結果の選択とプレゼンテーション資料作成	発表時間や聞き手への伝え方を考えて発表内容をパワーポイントで作成する	<input type="checkbox"/>
第13回	個別演習 III (2) 個別演習内での発表	各担当教員による個別演習内で発表する	<input type="checkbox"/>
第14回	全体講義 IV 発表と全体の講評	1. 発表する 2. 全体で振り返りを行う	<input type="checkbox"/>
第15回	4年生発表会への参加	4年生が実施する発表会に参加する	<input type="checkbox"/>

■ 授業時間外学習 (予習・復習) の内容 (Preparation/review details)	
<p>心理や生活、社会について関心のあるテーマを調べておく。次の授業に向けて必要な論文・資料の収集、読み込み、整理などをしてここと。(2時間) 事後学習として、授業内で提示された内容や収集した論文・資料の振り返りと研究発表資料の作成に向けた準備をすること。(2時間)</p>	

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

毎回、講義後に進捗状況の報告が課され、次回の授業の冒頭で講評する。研究発表の資料作成について適宜指導・助言を行う。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
思考力・判断力・表現力	◆ 2019人間健康DP2	テーマの設定、質問項目の作成、調査の実施、データの分析、論文作成、研究発表等、問題意識を持って積極的に課題に取り組むことができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

演習科目であるので、作業・ワークなどに取り組む姿勢を「その他」として評価とする。また、その時々々の発表資料や小レポートなどにより、理解力や達成度を「授業内試験」として評価する。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	なし	
2		
3		
4		
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	授業内で適宜紹介する。	
2		
3		
4		
5		